

(令和2年8月10日)

本日、163件の検査を実施しましたところ、市内で新たに3名（111～113例目（県内124～126例目））となる感染者が確認されました。

まず、111例目の方は、10歳代の男性で、立正大淞南高等学校の生徒さんです。サッカー部に所属し、寮で生活を送っておられた方です。8月9日に検査を行い、結果は陰性でしたが、本日37度台の発熱の症状が現れたため、再度検査を行ったところ、陽性が確認されました。

次に、112例目の方につきましては、同じく立正大淞南高等学校の生徒さんです。この方は、部活は野球部に所属されており、自宅から通学をされております。

113例目の方は、107例目の同居者の方になります。

3名の方は、現在、島根県広域入院調整本部において、入院先等を調整中です。

今後は、3名の方の行動調査・接触者調査を行い、必要な検査を実施し、感染症の拡大防止対策を講じてまいります。

続きまして、検査の状況についてご報告します。

まず、淞南高校関連ですが、本日までに、淞南高校の生徒292名、教職員38名を対象に検体を採取し、生徒196名、教職員は38名全員の検査を行いました。残る生徒96名分は明日以降に結果が判明する予定となっております。

次に、19例目関連の検査についてですが、19例目の濃厚接触者11名、21例目の濃厚接触者11名、22例目の濃厚接触者4名を検査し、いずれも陰性でした。

引き続き、濃厚接触者の検査を実施していく予定です。

今回判明した3名の方は、いずれも淞南高校の関係者ということで、同一の感染源による感染と推定されており、昨日も申し上げましたが、決して市中感染が広がっている訳ではありません。

今後も、学外への感染拡大を抑えるために、島根県にもご協力をいただきながら、引き続き感染者の接触者調査等を積極的に進め、幅広く検査を行う予定としております。市民のみなさまには引き続き冷静な対応をお願いします。

また、昨日も申し上げましたが、新型コロナウイルス感染症につきましては、誰もが罹る可能性のある感染症です。

市民の皆様には、不確かな情報に基づく嫌がらせや SNS 上での誹謗中傷などは厳に慎んでいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

状況についての説明は以上となりますが、本日、厚生労働省のクラスター対策班に来松の要請をいたしました。クラスター対策班は、早くて明日、松江に到着され、調査等を開始いただく予定です。

クラスター対策班のお力を借りながら、今回のクラスターの早期収束に向け全力で取り組んでまいります。